法学研究科 修了者のキャリアパスの事例

修士課程においては、法学および政治学に関する講義と演習を通じて、高度な法学的、政治学的素養を身につけることを目指している。本研究科は、開設以来数十年にわたり、教育・行政・産業などの各界に有為な人材を輩出しており、企業等に就職を希望する場合は、キャリア支援センターと連携をとって、適切な指導・助言を行っている。修士課程修了後の進路としては、民間企業や各種団体、高等学校教員や公務員などとしても活躍している。さらに、修士（法学）、修士（政治学）の学位を取得することにより、博士（後期）課程への進学や、中学校教諭専修免許状（社会）、高等学校教諭専修免許状（公民）の取得が可能となる。

近年では、夜間開講や長期履修制度を設けたことにより、地下鉄交通の利便性ともあいまって、社会人の方々の入学が増加している。社会人学生の場合には、高度な法学的、政治学的素養を修得することで、従来の職場でのさらなる活躍が見込まれる。

博士（後期）課程においては、大学や研究所等における研究者の育成のみならず、社会の各分野において活躍できる高度に専門的な能力と豊かな学識を有する人材の育成を目指している。近年では、2022 年度に退学されたものの論文執筆を続け、2024 年度に論文博士（政治学、乙号）を授与した方が、北海道内の大学の専任教員として 2025 年度に採用され、現在は第一線の研究者として活躍している。